

新春展示

# 生頼範義展

吉川英治を描く



© 生頼範義

2024年  
1月20日(土) - 3月17日(日)

【開館時間】午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

【休館日】毎週月曜日（⑨が祝日の場合は翌平日）

※2月12日⑨は開館し、翌2月13日⑩は休館

【観覧料】大人500円（400円）／小・中学生200円（150円）

※（ ）内は20名以上の団体割引料金

※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は手帳の提示で無料

※青梅市内の小・中学生は土・日・祝日無料

※青梅市立美術館との共通観覧券（大人600円／小・中学生200円）

※年間パスポート（大人1,400円／小・中学生500円）

【会場】青梅市吉川英治記念館

主催 青梅市教育委員会

協力 特定非営利活動法人 宮崎文化本舗・みやざきアートセンター

公益社団法人 生頼範義記念みやざき文化推進協会

青梅信用金庫・講談社

指定管理者 株式会社フクシ・エンタープライズ

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum



青梅市吉川英治記念館 〒198-0064 東京都青梅市柚木町 1-101-1 TEL:0428-74-9477 FAX:0428-74-9478 <https://ome-yoshikawaeiji.net/>



自画像 生頼範義 イラストレーション  
裏表紙 カット (1980)

画家・イラストレーターである生頼範義(おおらいのりよし/1935~2015)は、吉川英治の没後4年の1966(昭和41)年に講談社創立60周年を記念して刊行する吉川英治全集『三国志』の新聞広告のイラストを依頼され、初めて手掛けました。生頼範義が描いた『三国志』の英雄たちは大きな注目を浴び人気を博し、その後も『宮本武蔵』をはじめ『私本太平記』や吉川英治作品の装画、挿絵などを描きました。

本展示では、生頼範義のイメージした迫力ある原画作品を展示すると共に、吉川英治作品の関連資料を展示します。



吉川英治全集第26巻箱絵 孔明 (1966)



私本太平記 箱絵 足利尊氏 (1991)



吉川英治全集 新聞広告 原稿 (1969)

## 期間中の主なイベント

### 【事前申込制】

2月11日(日)祝 13:30~14:30 (予定)

オーライタロー氏  
トークイベント

生頼範義氏のご子息、オーライタロー氏によるトークイベントを館内で開催します。  
申込は1月17日(水)から ☎ 0428-74-9477  
定員 30名 参加費無料 (別途入館料)

2月17日(土)~3月20日(水)祝

ひな人形展

地域の方々からお借りしたひな人形などを記念館の主屋で展示します。

2月17日(土)~3月20日(水)祝

梅まつり

梅まつり期間中、週末のみ館内でお菓子とお茶の販売を行います。

### 【事前申込制】

3月9日(土) 14:00~15:00 (予定)

記念館で箏曲演奏会

東京都立青峰学園の伝統文化部の生徒とOBの方々によるお箏の演奏会です。  
定員 30名 参加費無料 (別途入館料)

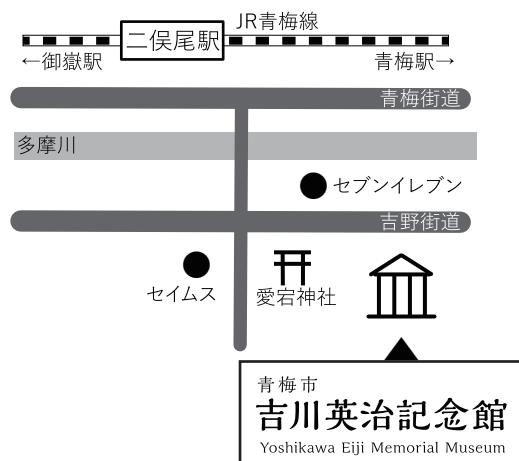
### 【事前申込制】

3月17日(日) 14:00~14:30

菊地玉雲の講談の世界

地元で活躍中の講談師菊地玉雲氏をお招きして主屋にて開催します。  
定員 30名 参加費無料 (別途入館料)

※変更があった場合は、事前に当館ホームページでお知らせいたします。 当館ホームページ <https://ome-yoshikawaeiji.net/>



- ◆JR 青梅線「二俣尾駅」下車徒歩約 15 分
- ◆JR 青梅線「青梅駅」下車 都営バス梅 76 系統「吉野行」乗車 「柚木」停留所下車徒歩約 1 分

青梅市

吉川英治記念館

Yoshikawa Eiji Memorial Museum

国登録有形文化財 旧吉川英治邸(草思堂)